



環境方針

当社は地球環境問題を経営課題であると認識し、企業理念に基づき「環境方針」を1998年4月に制定しました。当社は、持続的な社会の実現に向け、社会的責務を全うする企業でありたいと考えています。

環境方針(制定:1998年4月 改定:2010年3月)

常に地球環境と事業活動の深い関わりを認識し、「クリーンな商品」を「クリーンな工場、オフィス」から「クリーンな物流、販売店」を通してお客さまにお届けし、社会の持続的な発展を目指します。

また、法規制・地域協定・業界規範の順守はもとより、社会・地域貢献、自主的・継続的な改善、汚染の未然防止に取り組んでいきます。

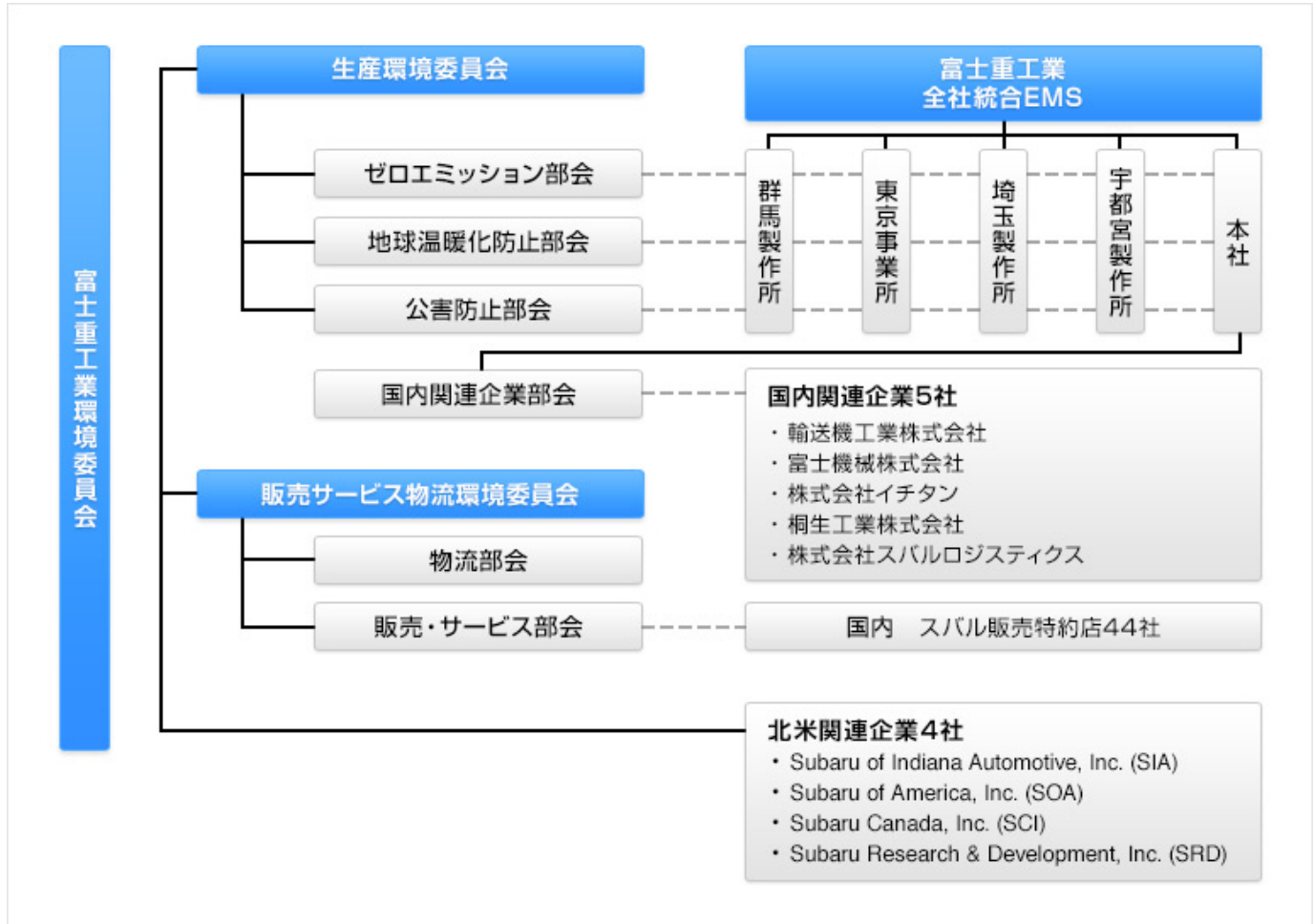
- クリーンな商品…環境にやさしいスバルブランドの商品設計、研究開発
- クリーンな工場…生産工程における環境負荷の低減
- クリーンなオフィス…本来業務を中心とした環境負荷の低減
- クリーンな物流…物流面における環境負荷の低減
- クリーンな販売店…販売店の環境保全活動に対する支援
- 管理面の拡充…社会貢献や情報公開、スバルグループとしての環境活動強化

組織体制

当社は、環境方針や環境ボランタリープランの目標を達成するために、全社統合EMS（環境マネジメントシステム）と環境委員会の2つを軸に、組織横断的に富士重工業グループの環境管理体制を構築しています。

環境担当役員が全社統合EMSの代表と環境委員会の委員長を兼務し、年2回定期的にレビューを実施しています。全体の進捗および取り組みの方向性を総合的にマネジメントすべく、活発に環境保全活動を推進しています。

富士重工業グループの環境管理組織体制（2015年6月現在）



第5次環境ボランタリープラン(2012~2016年度)

当社は、第5次環境ボランタリープランとして、2012年度から2016年度までの環境保全自主取り組み計画を策定しました。これは、当社環境方針に基づき、常により高い環境保全目標を掲げるとともに、法規制・業界との連携を含めた確かな環境対策を盛り込み、これまで以上にクリーンな商品を、クリーンな工場・オフィスから、クリーンな物流により、クリーンな販売店を通してお客さまにお届けし、商品で社会に貢献することを目標としています。

当社のみならず、グループ企業の指針として共有し、当社グループとして環境問題の継続的改善に積極的に取り組んでいきます。その取り組み項目について「地球温暖化対策」「資源循環」「公害防止・有害化学物質使用削減」「環境マネジメント」に区分し、紹介します。

第5次環境ボランタリープラン



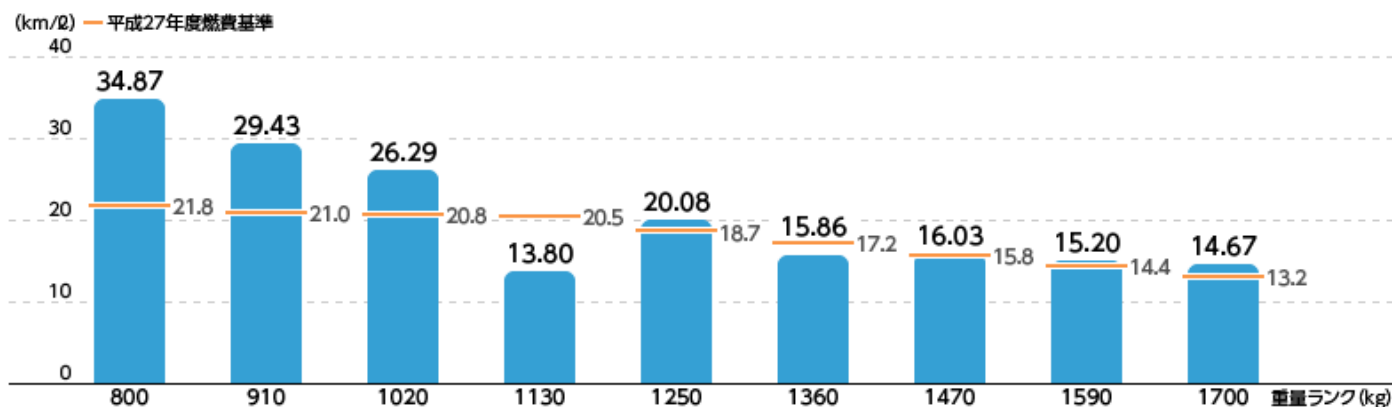
-  [PDF 399KB] [1] 地球温暖化対策
-  [PDF 154KB] [2] 資源循環
-  [PDF 464KB] [3] 公害防止・有害化学物質使用削減
-  [PDF 819KB] [4] 環境マネジメント

環境データハイライト

燃費基準への対応

- 国内：対象9ランク中7ランクで平成27年度燃費基準を達成
- 米国：2014モデルイヤーのCAFE(企業平均燃費)規制およびGHG(グリーンハウスガス)規制を達成

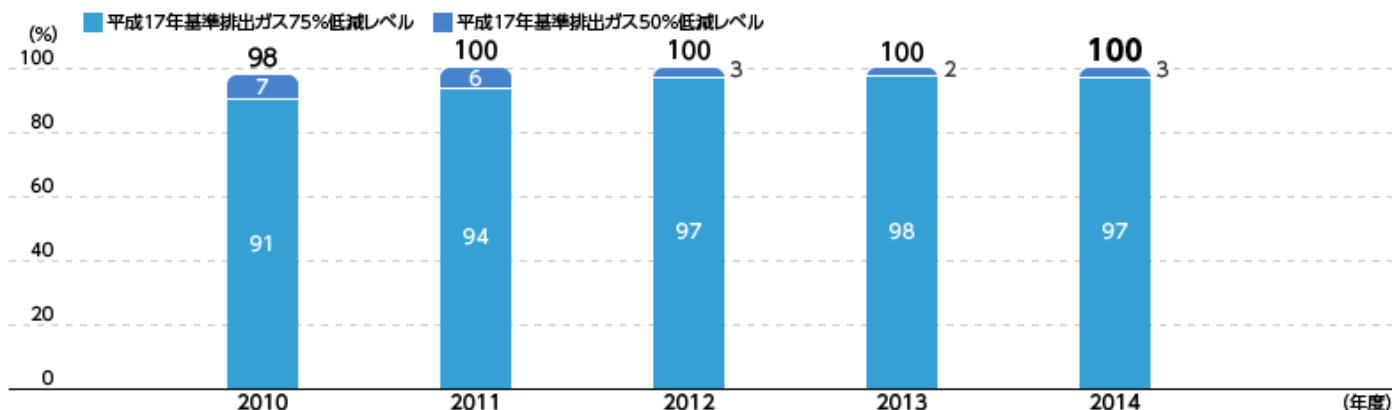
平成27年度燃費基準達成状況



低排出ガス認定車の向上と普及

- 平成17年基準75%低減レベル車の生産台数は98%まで向上
- すべての車両が低排出ガス認定車（平成17年基準50%低減レベル以上）

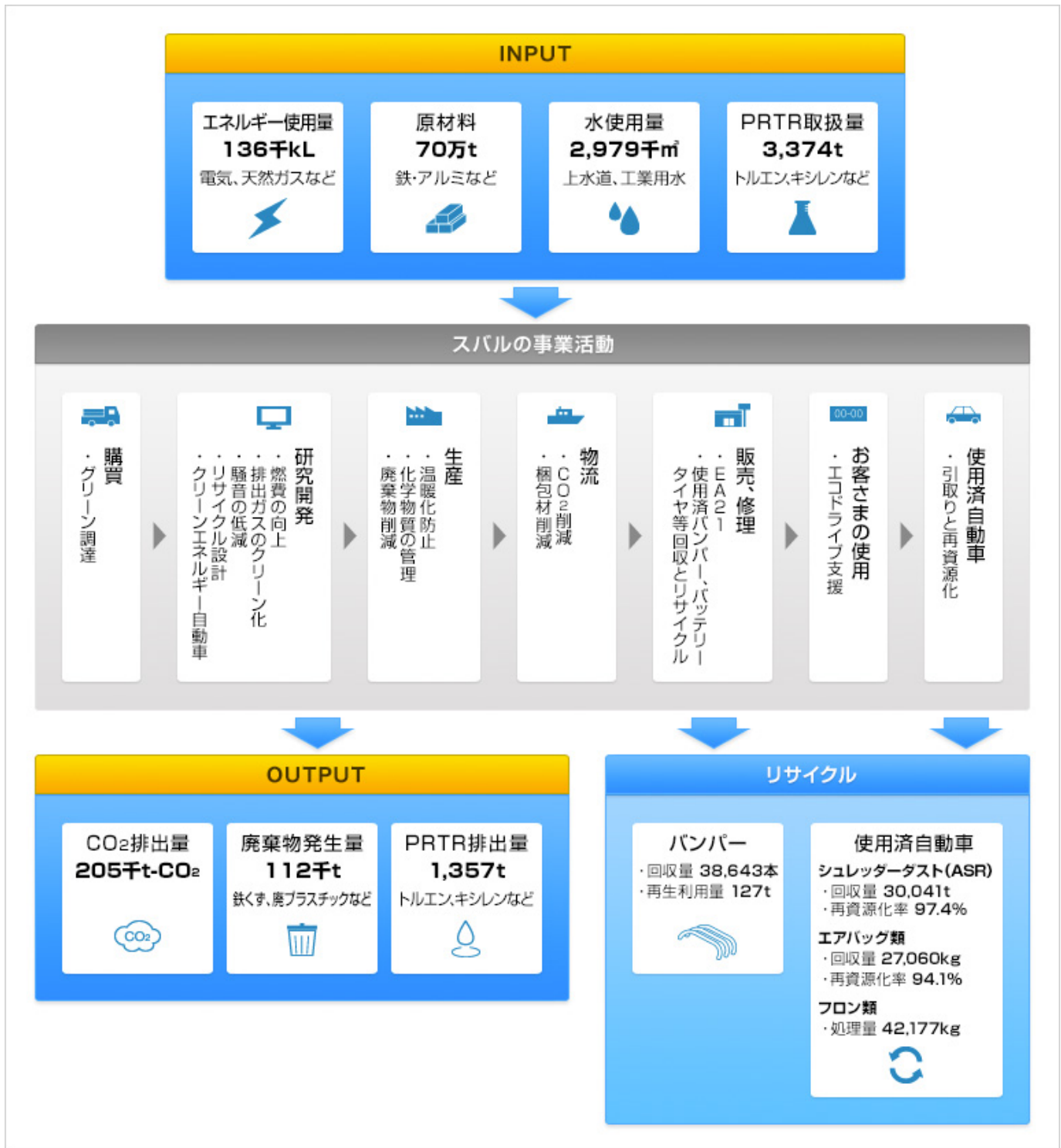
ガソリン乗用車の低排出ガス車比率の推移



自動車リサイクル

- 「自動車破砕残さ（ASR）」再資源化率97.4%（2015年度法定基準70%以上）
- 2011年5月に達成した埋立て処分ゼロの月間記録を継続
- エアバッグ類再資源化率94.1%を達成（法定基準85%以上）
- フロン類も引き取った全量を適正に処理

自動車にかかわる当社の環境負荷全体像



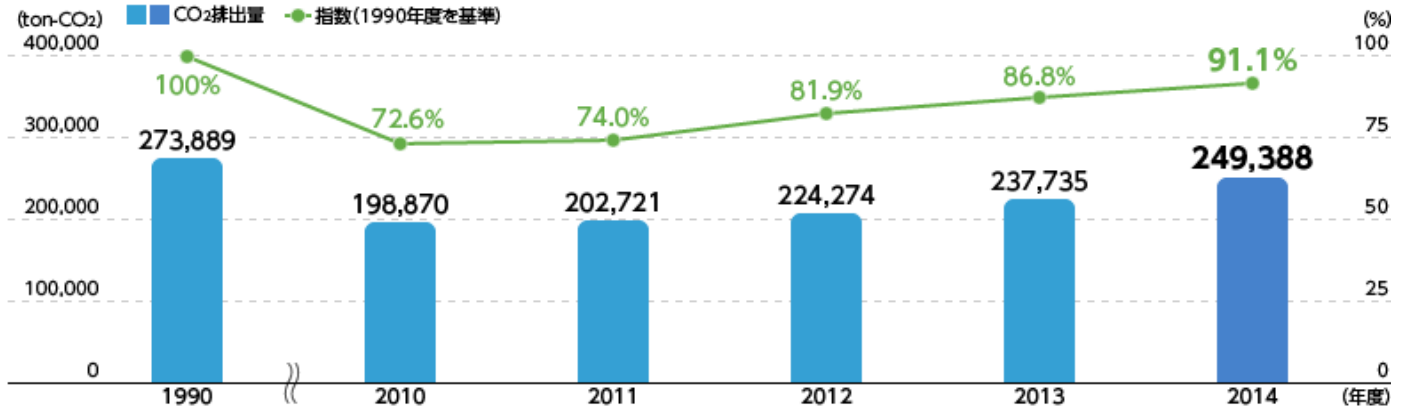
※当社の自動車製造、販売等に関わる主な環境負荷を記載しました。これとは別に、LCAやScope3の算定を行っています。

2014年度の主な環境パフォーマンス

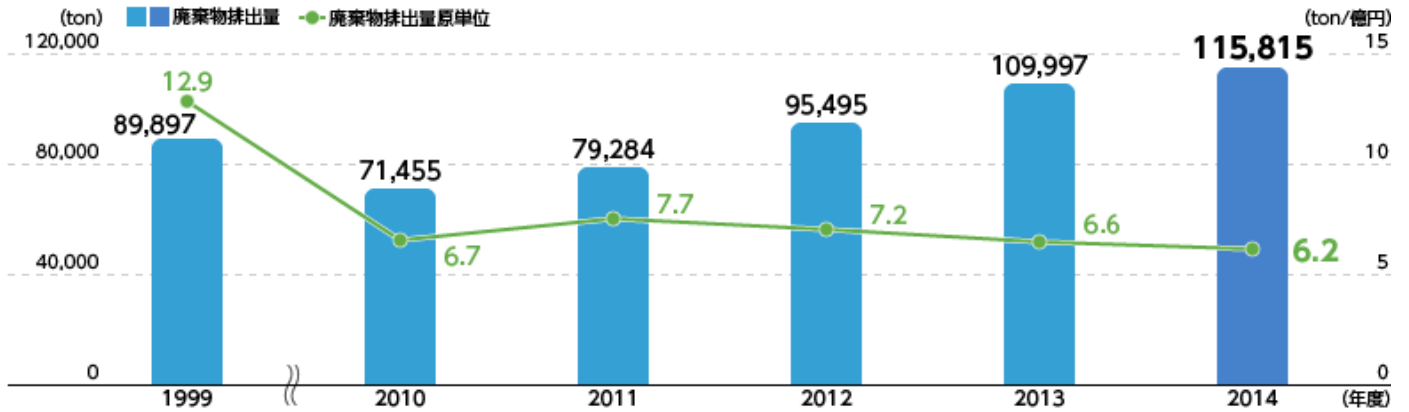
● CO₂排出量と廃棄物排出量は操業増により前年度比で増加

※ 集計対象事業所：群馬製作所、東京事業所、埼玉製作所、宇都宮製作所

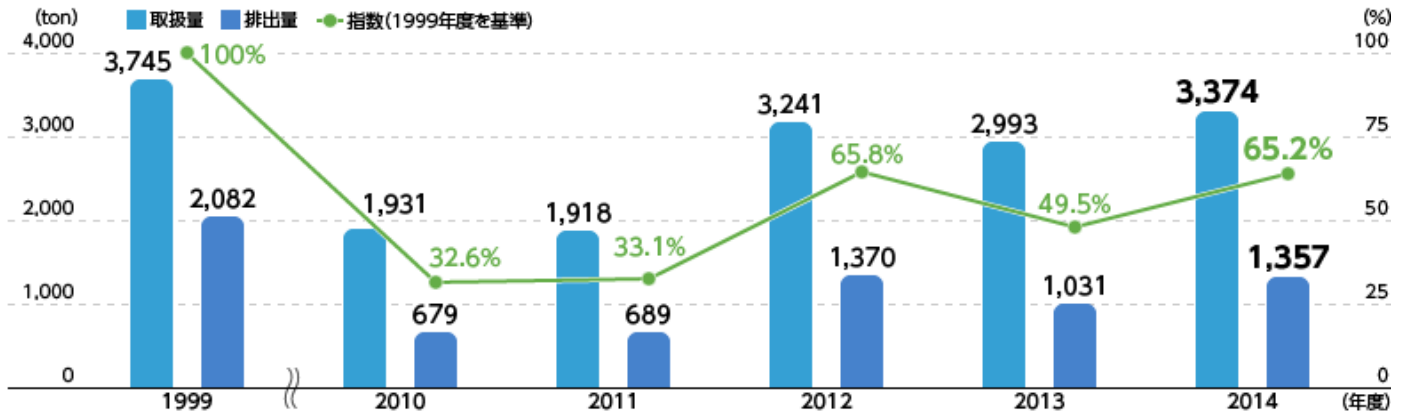
CO₂排出量



廃棄物排出量(売却金属くずを含む)



PRTR排出量



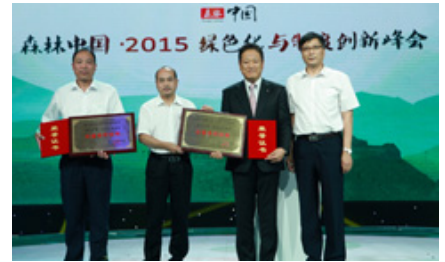
2012年末、SOC（中国・北京市）は、国家林業局の中国野生動物保護協会と共同で「スバル森林生態保全プロジェクト」を発足しました。このプロジェクトを通じて、スバルは中国の31の自然保護区に生態系保護のための森林を育てるとともに、同自然保護区に車両などを提供しています。2013年からは森林の生態系保護に向けた活動として「31の森星の旅」を継続的に開催。これは、中国各地のディーラーがお客様とともに遠出し、自然と触れあうことで、森の生態系保護に関心を持っていただくというイベントです。

2014年4月には、北京モーターショーで「31の森星の旅」第2シーズン活動を発表し、4月から12月の期間でイベントを実施しました。中国各地の自然保護区やパンダ・トキ・シカの保護区などヘディーラーがお客様とともに訪れ、公益路標識、エコ標識の設置、生態保護物資の寄贈などの環境保護活動を実施しました。これらの活動を通して生態系保護への関心を集め、第2シーズン活動では申込者数が20万人に達しました。

こうした長年にわたる活動により、人々の環境保護意識の引き上げと環境保護事業発展促進に貢献したことが評価され、2015年6月、中国の新聞社である光明日報が主催する「森林中国・第一回中国生態英雄」において、SOCは「公益提携パートナー」賞を受賞しました。



看板設置や生態標本収集などの様子



受賞式の様子